

全民連だより

ホームページアドレス <http://www.zenminren.gr.jp>

事務局

〒173-8501

東京都板橋区板橋二丁目66番1号

板橋区文化・国際交流課内

電話 03-3579-2018

FAX 03-3579-2309

第三十六回（平成二十四年度） 福島県棚倉町で開催

第三十六回（平成二十四年度）全国民俗芸能保存振興市町村連盟定期総会が、去る六月二十八日（木）・二十九日（金）の二日間、福島県棚倉町の棚倉町文化センター「倉美館」で開催されました。

秋田県羽後町以来二年ぶりの開催となりました定期総会ですが、地元福島県内の加盟市町村の皆様をはじめ全国から三十名の方にご参加いただきました。

総会に先立ち、二十八日十四時より平成二十四年度第一回役員会、その後十五時から第三十六回全民連総会が開かれました。

総会は、坂本健会長（東京都板橋区長）による挨拶のあと、開催地であります福島県棚倉町の藤田幸治町長様より歓迎のご挨拶、来賓として文化庁伝統文化課文化財調査官吉田純子様よりご祝辞を賜りました。

次に、棚倉町の藤田町長様を議長に選出し、議案の審議を行いました。議案は次のとおりです。

総会議案

- ・平成二十三年度事業報告
- ・平成二十三年度収支決算報告
- ・平成二十四年度事業計画（案）
- ・平成二十四年度収支予算（案）
- ・平成二十五年度総会開催地・総会決議

平成24年度 歳出予算

| 費目 | 摘要 | 予算額（円） |
|------|----------------|-----------|
| 会議費 | 役員会・次期総会準備 | 1,200,000 |
| 交際費 | 慶弔費等 | 30,000 |
| 事業費 | ブロック別民俗芸能大会協賛金 | 600,000 |
| | 全民連事業概要の印刷等 | 700,000 |
| | 全民連だより他事業費 | 700,000 |
| | | |
| 事務局費 | 通信費・事務用品など | 519,830 |
| 予備費 | 予備費 | 480,000 |
| 計 | | 4,229,830 |



坂本全民連会長挨拶

平成二十三年度が東日本大震災・霧島新燃岳噴火により被災した加盟市町村の支援を中心とした事業内容・予算編成であったのに対し、平成二十四年度はほぼ例年通りの事業・予算編成です。歳出予算につきましては左記をご覧ください。

平成二十五年度の総会開催地につきましては、愛知県東栄町に決定し（下記を参照下さい）、副会長であります尾林克時東栄町長様よりお引き受けのご挨拶を賜りました。引き続き尾林東栄町長様よりご提案いただきました総会決議案を含め全ての議案が承認され、第三十六回定期総会は盛会のうちに終了しました。

尚、総会の様子は地元福島県の新間にも掲載されました。

総会終了後、棚倉城跡・八槻都々古別神社を見学しました。棚倉城茶室では棚倉茶道会の皆様より呈茶のおもてなしを受ました。奥州一の宮であり創建が日本武尊の東征伝説にまで遡る八槻都々古別神社では、宮司さんより神社の由来や所蔵する文化財の解説を聞きました。

翌二十九日は棚倉町文化センターにて、講演会「被災地の無形の民俗文化財の現状と課題」を拝聴しました。震災によって被災した地域を講師の懸田弘訓先生が取材し、民俗芸能復興・再開に取り組んでいる人たちの姿を紹介していただきました。



棚倉城茶室見学



八槻都々古別神社で記念撮影

続いて国指定重要無形民俗文化財「八槻都々古別神社の御田植」を鑑賞しました。保存会であります「八槻都々古別神社楽人会・御田植保存会」は平成二十四年度地域伝統芸能全国大会（十月二十七・二十八日、福島県郡山市・会津若松市で開催）での表彰において、最高賞の「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」を受賞する事が決定しています。おめでとうございます。



八槻都々古別神社の御田植 天狐の舞

棚倉町の藤田町長様はじめ職員の皆様、関係者の皆様のご尽力とあたたかいおもてなしに深く感謝申し上げます。お陰様で第三十六回定期総会を無事終了する事ができました。ありがとうございます。

第37回 総会開催地 愛知県東栄町に決まりました！

第36回総会に於きまして平成25年度に開催されます第37回全民連総会の開催地が愛知県北設楽郡東栄町（とうえいちょう）に決定しました。

東海・北陸地区では平成15年の富山県八尾町（現・富山市）以来10年ぶり、愛知県では初の開催となります。

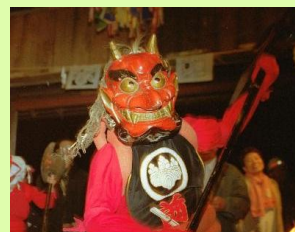
開催期日は平成25年5月下旬～6月下旬を予定しています。

全国の加盟市区町村の皆様、関係者の皆様、全民連総会は自治体間の交流・情報交換の絶好の機会です。是非東栄町へお越し下さい。お待ちしております。



東栄町の民俗芸能 花祭

（国指定重要無形民俗文化財）



花祭の禰鬼

「テーホヘ テホヘ」と、夜を徹して繰り広げられる花祭は、鎌倉時代末期から室町時代にかけて、熊野の山伏や加賀白山の聖によってこの地に伝えられたといわれています。「冬至」の前後、太陽の力の復活を願って行われる「霜月神楽」の一種とされるこの祭りは、天竜川水系に今も伝わる神事芸能で700年以上にわたって継承されています。

全 民 連 事 業 概 要

お陰様をもちまして、全国民俗芸能保存振興市町村連盟（全 民 連）は昭和五十一年の発足以来三十五年間活動を続けることができました。今回は全 民 連 発 足 以 来 の 経 緯 と 活 動 内 容 を ご 紹 介 し ま す。

1 全 民 連 と は

全 民 連（正式名称 全国民俗芸能保存振興市町村連盟）は、民俗芸能その他の無形民俗文化財の保存振興にあたる市町村村によって組織された団体で、昭和五十一年に設立されました。

設立までの経緯

全 民 連 だ よ り 創 刊 号（昭和五十一年二月十日発行・左の写真）によると、「昭和五十一年に文化財保護法が改正され、民俗芸能は民俗文化財の中に位置づけられ重要無形民俗文化財として指定され、保護される制度が設けられることになりました。」
しかし、民俗芸能などの無形の民俗文化財はそれが伝承されてきた社会的条件が戦後大きく変わってきているため、各地域の人々の熱意だけでは十分な保存・振興をはかることは難しい状況にあります。

このようなことから、昭和五十一年五月、民俗芸能保存振興のための全国組織について文化庁・都道府県教育委員会・市町村長・保存会代表で協議を行った結果、市町村が主体となって全国組織を作り、民俗芸能の保存振興をはかるのが至当であろうということになりました。こうして、昭和五十一年十二月十日の発起人総会を経て、全国168市町村村のご賛同をいただき十二月二十八日の結成総会において全 民 連 が 発 足 す る 運 び と な り ま し た。

2 目 的

全国各地にはその土地に代々伝わる民俗芸能、年中行事などさまざまな無形民俗文化財がありますが、こうした貴重な文化資産を正しく保存継承していくことを市町村

村の責務と考え、加盟市区町村が連携してその保存振興に努めることを目的としています。

3 活 動 内 容

全 民 連 は、文化庁伝統文化課、顧問・参与の先生方、各都道府県文化・文化財担当課のご支援、ご指導をいただきながら次のような活動を行っています。

- (一) 定期総会（毎年一回）
毎年加盟市区町村の中から開催地を決め、総会、芸能鑑賞会等を実施しています。文化庁、顧問・参与、都道府県、加盟市区町村の皆様との交流を図る良い機会です。
- (二) 全国民俗芸能大会共催
伝統ある全国民俗芸能大会を、財団法人日本青年館と共催しています。
- (三) ブロック別民俗芸能大会協賛
全国五ブロックごとに都道府県主催により民俗芸能大会が開催されていますが、この大会を協賛しています。
- (四) 協賛後援活動
大会、公演等で本会の目的達成に必要な内容のある事業に対して協賛、後援活動を行っています。
- (五) 加盟促進活動
全 民 連 関 連 事 業 を 通 じ て、未 加 盟 市 区 町 村 へ 加 盟 を 呼 び かけています。

市区町村民俗芸能・文化財担当者様へ

全 民 連 へ ぜ ひ ご 加 入 ください

全国各地の歴史・風土の中で育まれてきた民俗芸能は、日本人である私たちの「心のふるさと」であり、生活に密着した伝統的な文化です。しかし現在「後継者不足」「民俗芸能の意識の低下」など各地で様々な問題を抱えています。全 民 連 は 昭 和 五 十 一 年 の 結 成 以 来、この「心のふるさと」を喪失することのないよう、民俗芸能に関する催しの協賛・後援活動をはじめ各種事業をおこなって、民俗芸能の保存振興のために努めています。ご当地の民俗芸能の振興・市区町村相互の情報共有のためにもこの機会にぜひ全 民 連 へ の ご 加 入 を ご 検 討 ください。

全 民 連 だ よ り 創 刊 号
（昭和 52 年 2 月 10 日 発行）
全 民 連 発 足 の 背 景 や 結 成 に 携 わ っ た 方 た の 民 俗 芸 能 へ の 熱 い 思 い が 伝 わ っ て き ま す
全 民 連 ホ ム ペ ー ジ か ら ダ ウ ン ロ ー ド で き ま す



全 民 連 関 連 事 業（10 月 以 降）

【財 日 本 青 年 館 と 共 催】

第 61 回 全 国 民 俗 芸 能 大 会

日本青年館（東京都新宿区）
（11 / 17・土）

【演 目】

- ・半田市亀崎のからくり人形（愛知県半田市）
- ・下柴彼岸獅子舞（福島県喜多方市）
- ・平磯虎舞（宮城県気仙沼市）
- ・山代本谷神楽（山口県岩国市）

問・財日本青年館
電話・〇三（三四七五）二五七三

【協 賛】

第 54 回 ブロック別民俗芸能大会

○ 北 海 道 ・ 東 北（10 / 28・日）

天童市市民文化会館（山形県天童市）
問・山形県教育庁文化財保護推進課
電話・〇二三（六三〇）二八八〇

○ 関 東（10 / 14・日）

千葉県南総文化ホール（千葉県館山市）
問・千葉県教育庁文化財課
電話・〇四三（二二三）四〇八二

○ 近 畿 ・ 東 海 ・ 北 陸（11 / 11・日）

豊川市文化会館（愛知県豊川市）
問・愛知県教育委員会生涯学習課
文化財保護室

○ 中 国 ・ 四 国（11 / 18・日）

シンフォニア岩国（山口県岩国市）
問・山口県教育庁社会教育・文化財課
電話・〇八三（九三三）四六六六

○ 九 州（10 / 14・日）

くすまちメルサンホール（大分県玖珠町）
問・大分県教育庁文化課
電話・〇九七（五〇六）五四九七

【後 援】

第 15 回 全 国 獅 子 舞 フェスティバル 掛 川

掛川グランドホテル・掛川城御殿
（静岡県掛川市）
問・静岡県掛川市地域支援課
電話・〇五三七（二）一一五〇

第 24 回 民 俗 芸 能 と 農 村 生 活 を 考 え る 会

日本教育会館一ツ橋ホール
（東京都千代田区）
問・財全国農協観光協会
電話・〇三（五二九七）〇三三三

【第 27 回 国 民 文 化 祭】

とくしま 2012

アスティとくしま（徳島市）ほか県内各会場
問・第 27 回 国 民 文 化 祭 徳 島 県 実 行 委 員 会
電話・〇八八（六二）二三三四三

お 知 ら せ

○ 総 会 開 催 地 を 募 集 し ま す

平成二十六年年度定期総会の開催地を募集します。開催してもいい、検討してもいいとお考えの自治体様は是非一報ください。

○ 当 地 の 民 俗 芸 能 の 写 真 を お 送 り ください

加盟促進パンフレット「全 民 連 事 業 概 要」を発行するにあたり、加盟市区町村で保存・継承されている民俗芸能の写真・アートを募集しています。詳細は全 民 連 ホ ム ペ ー ジ に 掲 載 し て い ます。是非お送りください。

○ 著 書 の 紹 介

全 民 連 顧 問 の 星 野 紘 先生著「過疎地の伝統 芸能の再生を願って」
国書刊行会出版 価格 3,780円（税込）

